

キンダーブック2 9月号

表紙の絵から

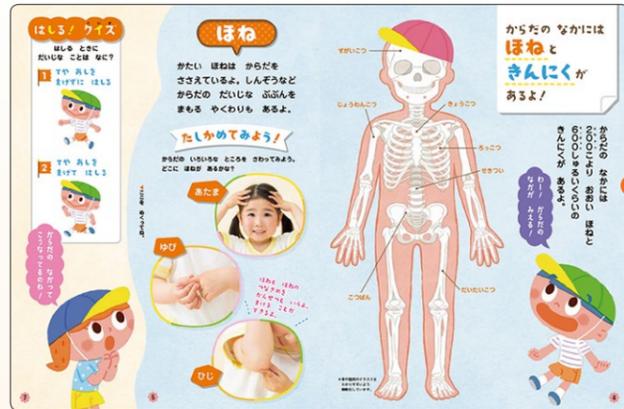
ジャンプが得意なうさぎさんがお月様がきれいに見える高い木の枝にみんなを連れて行ってあげました。特別な場所で食べる月見だんごはとびきりおいしそうですね。次号はためきさんが得意なことを教えてくださいませよ!



* はしる とき からだは どうなっているの? *

ねらい 「走る」ことから自分のからだに興味をもちましょう。

走るときにどんなふうにからだを動かしているか聞いてみましょう。手は? 足は? からだ全体は? などと、具体的に問いかけると、子どもたちも答えやすいですね。その場で走って、気づいたことを言ってもらってもよいですね。



からだの中にある、骨と筋肉の絵におどろく子ども多いと思います。自分のからだを触りながら、どこに骨や筋肉があるか探してみましょ。走るときにつかっている骨や筋肉はどこかも考えられるとよいですね。

筋肉と骨が連動してからだを動かしていることを知りましょう。運動会の前などに速く走るためのコツを見て、実践できるとよいですね。練習の前後でタイムを測ると効果を実感しやすいそうです。



よし、やってみよう!



ねらい 苦手なことも勇気を出して挑戦してみましょう。

つかい方のポイント 高いところが苦手なわんすけくん。同じように苦手な友だちががんばっている姿を見て、挑戦することができました。じょうずにできなかったとしても、挑戦したことをほめ、次もがんばってみようと思わせてあげられるとよいですね。



さかなを たべよう



ねらい 魚料理を食べてみましょう。

つかい方のポイント 骨があったり、食べにくかったりして、魚は苦手という子もいるかもしれません。魚の種類の多さや、栄養が豊富なことを知って、食べてみたいと思えるとよいですね。魚の大きさを自分の腕の長さと比較して実感できると楽しそうです。

「キンダーブック2」を保育にご活用ください!

絵本をつかった指導計画の文例

毎月季節の折り紙遊びがダウンロードできます!



<https://kinderbook.froebel-kan.co.jp/DL/kb2/origami>



コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
かんざつ 身近な不思議を知ろう 「はしる とき からだは どう なっているの?」	<ul style="list-style-type: none"> ● 走ることから自分のからだに興味をもつ。 ● 自分のからだを触ってみる。 ● 速く走るためのコツを実践してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ふだんの遊びや運動会のかげっこをする前に、からだをどんなふうにつかっているか意識させる。 ● 骨、筋肉を触りながら説明する。 ● からだの図鑑などを用意する。 ● 速く走るコツを知らせ、練習をする。練習する前にタイムを測っておき、練習前後の差を子どもたちと共有する。 	環境 表現 健康	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉による伝え合い ● 健康な心と体 ● 協同性 ● 思考力の芽生え ● 豊かな感性と表現
せいかつ 友だちの気持ちを知ろう 「よし、やってみよう!」	<ul style="list-style-type: none"> ● 苦手なことに挑戦してみる。 ● 自分や友だちにも、得意不得意があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちのやってみようという気持ちをほめてあげる。 ● みんなに得意不得意があることを知らせ、お互いを認め合えるような環境をつくる。 	人間関係 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉による伝え合い ● 思考力の芽生え ● 健康な心と体 ● 自立心